J-Forest
白神森林組合だより
2020.1
Vol.39

■発行／白神森林組合　〒016-0814 能代市能代町字中川原33-45　Tel.0185-54-9300　Fax.0185-54-9302　E-mail:shirakami@shiramori.or.jp　HPアドレス http://www.shiramori.or.jp

山 神 祭（令和元年12月13日　キャッスルホテルのしろ）

令和元年度の白神森林組合「山神祭」が執り行われました。

当日は、役員・職員・技能職員・林業事業体が一堂に会し、山の恵みを享受させて頂いている感謝と、これからも変わらない恩恵を賜れるよう祈念し、１年間の無事に感謝するとともに安全を祈願しました。

白神森林組合

本・支所名	電話番号
本所	0185－54－9300
能代支所	0185－54－7402
八峰支所	0185－77－2132
三種支所	0185－84－2030
藤里支所	0185－79－1562
二ツ井支所	0185－73－2938
木材流通センター	0185－59－2605
二ツ井加工場	0185－73－5818

CONTENTS

Ｐ２……新年のごあいさつ
Ｐ３……造林（植栽）促進助成事業
Ｐ３……原木輸出状況
Ｐ４……地区座談会の開催について
Ｐ４……秋田県森林組合大会
Ｐ４……組合員研修会

新年のごあいさつ

代表理事組合長　**金　野　忠　徳**

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様も、ご家族共々ご健勝にて新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、平成天皇が退位され、令和の時代を迎えました。天皇陛下が、生存中に退位されたのは、文化四年、光格天皇が仁孝天皇に譲位されて以来であります。

一方、昨年は自然災害が多発した年でもあり、特に、十月に発生した台風十九号では、死者九十八名、住宅の被害が八万戸、農林水産業の被害も三千億円にものぼる大災害でありました。

このような、台風、豪雨などの自然災害が多発するようになった要因は、年を追うごとに増え続けている二酸化炭素による地球温暖化によるものであるとも言われており、二酸化炭素を吸収する森林整備の重要性は、年々高まってきていると感じております。

このような状況の中で、林業に目を向けると、令和元年は、我々森林所有者にとって大きな転換期を迎えた年となりました。それは、四月に施行された「森林経営管理法」であります。この法律は、「森林環境税」という特別会計を設け、森林所有者の意向により、手入れの行き届かない私有林を、税金を使って整備していくものであり、管内各市町へも交付され、本年より、本格的に運用されていきます。

当組合でも、管内森林・林業の課題克服に向け、様々な取り組みを行ってきました。

一つは、なかなか進まない再造林率向上に向けた取り組みであります。昨年の総代会で承認を得て、造林補助金制度を利用して植栽する組合員に対し、所有者負担ゼロを目指し、組合独自で助成する仕組みを作りました。これは、秋田県では初めての取り組みであります。

二点目は、収穫期に入った、組合員の森林の伐採を進め、その後の再造林でも効果を発揮する、高性能林業機械の導入であります。平成二十六年度から進めて参りましたが、本年度の導入により、二班の林産態勢が確立致します。

このほか、引き続き原木の輸出も進め、組合員の所得増に繋げていきたいと考えておりますので、本年も引き続き、組合員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のごあいさつ申し上げます

令和二年

白神森林組合

代表理事組合長　金野忠徳
副組合長理事　須合勝治
副組合長理事　小山内一郎
理事　佐々木学
理事　金平練一
理事　加藤徳道
理事　畠山育良
理事　矢口紀治
理事　本庄毅
理事　川村吉克
理事　佐々木靖夫
理事　近藤貢
理事　小山内重正
理事　藤田定
理事　石山金由
代表監事　田村利満
監事　佐々木修司
監事　畠山利勝

『植栽を自己負担なしで!!』

～造林（植栽）促進助成事業～

当組合員様限定 》》》1ha当り、最大80,000円まで助成！

1．採択要件

次のすべての条件を満たすもの

⑴　管内（能代山本地域）の当森林組合正組合員所有の私有林で、造林（植栽）を行うもの

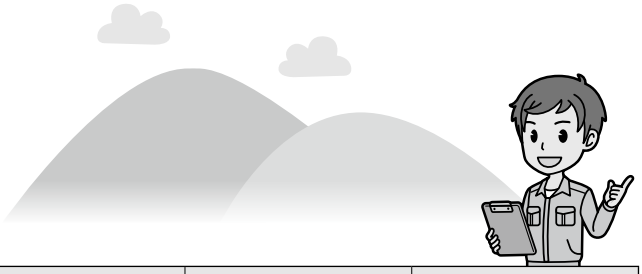
⑵　造林補助事業を利用し、当森林組合が申請してその補助をうけたもの、 若しくは受けることが確実なもの

⑶　事業年度（４月１日～翌年３月31日）内に植栽を完了するもの

2．助成金額

⑴　助成単価は定額、植栽面積１ha当たり50,000円

（負担金が発生した場合30,000円を上限として上乗せ助成）



★令和元年度実績見込み（予算額￥1,600,000）

市　　町	能代市	藤里町	三種町	八峰町	合　計
面　積（ha）	0	12.95	5.06	5.88	23.89
金　額（円）	0	647,500	404,800	470,400	1,522,700

★令和２年度計画（確定分のみ）

市　　町	能代市	藤里町	三種町	八峰町	合　計
面　積（ha）	2.00	8.65	5.00	0.50	16.15
金　額（円）	100,000	432,500	400,000	25,000	957,500

※　令和２年度に植栽を希望する組合員は、苗木確保等準備の関係上、出来るだけ２月末迄にご連絡下さい。

※　助成事業は、来年度以降も継続して実施致しますので、ご要望・ご相談は随時受付致します。

能代港からの原木輸出状況

アメリカと中国の貿易摩擦の影響を受け、５月から能代港に停滞していた輸出用原木の出荷が10月16日、５ヶ月ぶりに再開されました。出荷先はこれまでの中国に加え、新たにベトナムにも出荷し、再開後の３船で約20,000㎥を超え、今年度の累計は11月末現在で36,821㎥の出荷量となり、昨年同時期と比べると26％増の取扱量となっております。買取価格は輸送船の燃料の厳格化や高騰によってピーク時より㎥当たり500円ほど下がっておりますが、組合では、運搬コスト等を比較検討し、組合員により多く還元出来ると判断した材について出荷しております。

令和元年度 地区座談会の開催について

●お知らせ

組合員の皆様におかれましては、日頃から本組合事業の推進について特段のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

下記日程により地区座談会を開催しますので、たくさんの組合員のご参加をお待ちしております。

●日 程 表

開 催 日	開 催 会 場	対 象 地 区
令和２年２月14日（金）	三種支所	三 種 地 区 全 域
令和２年２月17日（月）	藤里町総合開発センター	藤 里 地 区 全 域
令和２年２月18日（火）	二ツ井公民館	二ツ井地区全域
令和２年２月20日（木）	能代工業団地交流会館	能 代 地 区 全 域
令和２年２月21日（金）	八峰町文化交流センター	八 峰 地 区 全 域

開催時間は、各会場とも 午後２時～午後４時（予定） です。

森林相談

午後１時から開会前までの時間を利用し、座談会の場では話しにくいような森林に関する個人的な相談や質問にお答えします。是非、ご利用下さい。

組合員研修会

令和元年十月二十三日（水）に、組合員研修会を実施し、大仙市にある株式会社門脇木材　協和工場内の大径材製材工場とバイオマスチップ工場を視察しました。

今現在、課題となっている大径材加工に対応するため、本年四月から稼働した製材工場では、従前までは三八cmまでだった加工可能径級が、五四cmまで製材可能となり、今年度は、昨年度実績の二三〇％超の五〇，〇〇〇㎥の原木消費量を計画しているとのことでした。

製材過程で発生する樹皮は乾燥燃料、端材等はバイオマス工場を経由して発電事業へと、まさに「木は全部使いきる」という経営理念そのものの会社経営でありました。

当日は、社長自ら視察に同行していただき、最後の質疑応答での、社長の森林に対する想いに対し、参加組合員は感銘を受けた様子でありました。

第63回 秋田県森林組合大会

令和元年11月15日、第63回秋田県森林組合大会が、秋田市の「秋田テルサ」において、県内森林組合関係者約400名が参加し開催されました。

秋田県森連の佐藤重芳会長が、「二酸化炭素の吸収源という森林の機能を最大限発揮させるための森林整備へしっかりと取り組む」、「県と一緒になって再造林を推進していく」と挨拶されました。

▼大会決議事項は下記の通り

1．森林経営管理制度の推進

1．森林資源の循環利用の推進

1．再造林の推進（緊急動議）

秋田県森林組合大会表彰者

（当組合管内）

①秋田県知事賞

森林組合経営功労者　金野　忠徳

②秋田県森林組合連合会会長賞

役員永年功労者　矢口　紀治（就任15年）

職員永年勤続者　石田　豊紀（勤続30年）

部門別系統利用優秀組合 森林造成事業　白神森林組合

令和２年３月にホームページをリニューアルします！
最新の情報を掲載いたしますので、是非ご覧ください！

アドレスは http://www.shiramori.or.jp です。